

令和3年度「オリンピック・パラリンピック・ムーブメント全国展開事業」

事業実施報告書

- | | |
|-----|------------------------------------|
| I | スポーツ及びオリンピック、パラリンピックの意義や歴史に関する学び |
| II | マナーとおもてなしの心を備えたボランティアの育成 |
| III | スポーツを通じたインクルーシブな社会（共生社会）の構築 |
| IV | 日本の伝統、郷土の文化や世界の文化の理解、多様性を尊重する態度の育成 |
| V | スポーツに対する興味・関心の向上、スポーツを楽しむ心の育成 |

学校名【 弥富市立弥富中学校 】

1 実践テーマ	【 Ⅲ・Ⅴ 】
2 実施対象者	全校生徒606名（1年209人 2年193人 3年204人）
3 展開の形式	<p>(1) 学校における活動</p> <p>① 教科名（保健体育科、道徳科、総合的な学習の時間 ）</p> <p>② 行事名（ ）</p> <p>③ その他（ ）</p> <p>(2) 地域における活動</p> <p>① イベント名（ ）</p> <p>② その他（ ）</p>
4 目標 (ねらい)	<ul style="list-style-type: none"> ・ パラリンピックに対する興味・関心を高める。 ・ パラリンピックの選手から直接話を聞くことによって、自分を見つめ、より向上していこうとする気持ちを高める。 ・ インクルーシブな社会について考えるきっかけとする。
5 取組内容	<p>(1) パラリンピックについて知る【保健体育科・3年生】 パラリンピック教材「I'm POSSIBLE」を使用し、種目などについて知った。また、パラリンピック参加者が急激に増加したのはなぜかを考えさせ、生徒は、パラリンピックの意義について考え、パラリンピックへの興味関心をもつきっかけとなった。</p> <p>(2) パラリンピックに注目！【総合的な学習の時間・全校】 パラリンピック開催直前に全校生徒に「I'm POSSIBLE」を使用してパラリンピックへの関心を高めさせた。 リオ2016パラのダイジェストと「I'm POSSIBLE」の由来の参考映像を観た。臨場感あふれる映像に引き込まれる様子が見られた。 また、10月に講演に来てくださる加治良美氏を紹介し、カヌー競技についても紹介した。新聞で加治選手が紹介されていることも記事などを通して関心を高めた。</p> <p>(3) 全校一斉道徳【特別な教科 道徳科・全校】 学びのテーマ『人がもつ強さとは、何だろう』 ① 各学級での道徳授業</p>



【全校で映像を観る生徒の様子】



【午前中の道徳の授業の様子】

午前中、加治良美選手の著書である『先生、どうして足がないの?』をもとに、20分程度の読み物教材にして道徳科の授業を各学級で行った。

主発問「良美さんの今があるのは、どうしてだろう」の発問に対して、多面的に考えることができた。「いろいろな人が励ましてくれたから」と周囲から得たパワーと「夢や希望をもつことができたから」という良美さん自身から発せられたパワーの2つの側面を捉え、良美さんの「今」について考えていた。

また、テーマ発問に対しても、皆それぞれが自分なりに考えたことを書いていた。

- ・ 自分のやる気しだいでやるかやらないかが決まる。人がもつ強さというのは、人のやる気、勇気、チャレンジするということが大切になってくる。そういうことを考える想像力豊かな人が強いということだと思った。【1年】
- ・ 私が思う人がもつ強さとは、たとえどん底にいても這い上がれる力があるということだと思う。どん底にいてもたくさんの人からの支えや、やりたいと思えたことに対して希望をもってどんどん這い上がれる力があることだと思った。【2年】
- ・ 強い人とは、憧れや心の中で想うだけでなく、挑戦、行動できることだと思いました。そして、失敗してやめてしまう人は、何をしても強くなれないと思うし、失敗をしたら次に生かそうとか、どうしたらさらに強くなれるか考えられる人はさらに強くなって、力もついていくなと感じました。【3年】

【テーマ発問「人がもつ強さとは、何だろう」に対する生徒の考え】

② 加治良美選手の講演

午後は、ご本人に今回の学びのテーマ「人がもつ強さとは、何だろう」をそのまま演題としてお話していただいた。生徒が皆驚いていたのは、加治選手がとても明るく、楽しそうにカヌーの話をする姿や義足を説



【パドルを操作し説明する加治選手】

明し見せていた姿であった。午前中に事故で足を失った良美選手の過去を知り、その気持ちを想像していた生徒は、目の前にいる加治選手から少しも悲壮感が感じられず、むしろ事故から「リセット」されたときぱりと話された姿に驚いていた。カヌー競技のためにひたむきに、そして楽しく活動していることが映像やその熱心な話しぶりから見てとれた。

「加治選手は夢や目標をもって生きているのだな」「加治選手のチャレンジ精神を僕も見習っていきいたい」と、自分の弱さと比べた生徒、障がいも一つの個性だと考えた生徒、目標をもって自分の強さとしたいと考える生徒。教師が考えた以上に加治選手の堂々とした姿に心打たれることとなった。



	<p>③ 講演後、全校一斉道德の振り返り</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 10px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・ 自分の目標をもつことで人から応援され、自分の強みというものになっていく。人の強みは挫折や生きていく中で失敗があるけど、それを直すため、それを超えるために努力していくことが人の強みだと思う。いろんな人が支え合って今の加治さんがいて、僕もいろんな人に支えてもらい、いろんなことに挑戦していきたい。【1年】 ・ 障がいがあるから。と、あきらめないでいろんなスポーツに挑戦し、障がいがあることを前向きにとらえ自分の強みにしていく加治選手がすごくかっこいいと思った。自分ではできないから・・・ではなくて、とりあえずやってみようとするのが大切だと知った。自分の好きなこと、得意なことを自分のやりたいことになってそれがさらに強さとなっていくのだと思った。前向きに考える姿勢が自分の強さの源となり、新しい人生の見方ができるようになるので、私もポジティブに考えられるようになりたいと思った。そして、加治選手みたいに「好き」を貫き通し、人生を全力で楽しめるような人に影響を与えられるような人になりたい。【2年】 ・ 今日のお話を聞いて、良美選手が人生での努力や支えによって今こうしてパラリンピックの選手になっているのが、すごいと思いました。自分は努力しても誰かの支えがあったとしてもダメなことが多く、何回も無駄だと思ってしまふときがありました。けど、今回の話や質問の答えを聞いて自分も何回くじけたりしても、あきらめなかったらいつか自分のためになると信じるのが大切だと思いました。【3年】 <p style="text-align: right;">【全校一斉道德後の生徒の感想】</p> </div>
<p>6 主な成果</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ パラスポーツに注目できるよう計画的に「I'mPOSSIBLE」を利用して大会直前に全校生徒に映像を見せたり、講演して下さるパラアスリートを紹介したりして興味関心を高めることができた。 ・ 午前中、加治選手の著書を道德科において教材として使用し、加治選手の生き方を知り、学びのテーマ「人がもつ強さとは、何だろう」について考えた。それによって午後、実際にご本人から直接お話を聴き、より深く考えることができた。
<p>7 実践において工夫した点(事業の特色)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ パラスポーツに注目できるよう計画的に「I'mPOSSIBLE」を利用して大会直前に全校生徒に映像を見せたり、講演して下さるパラアスリートを紹介したりして興味関心を高めたこと。 ・ パラアスリートの著書を使用し、道德科において教材として、生き方について考えさせたこと。 ・ 地元の選手に来ていただくことができたこと。 ・ 講演会後に、学んだことをまとめて全校生徒、保護者に発信したこと。
<p>8 主な課題等</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 予算の関係でオリンピックの選定が難しかった。 ・ 講演だけでなく、障害者スポーツの体験などが一緒に行えるとよかった。 ・ 推進校となり、生徒にとってありがたい機会となったが、今後の継続的な取組を考えると財源や人的な支援が必要だと考える。
<p>9 来年度以降の実施予定</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 体育の授業、道德の教材などでオリンピック・パラリンピックについて知る機会を設け、興味・関心をもつきっかけとしたい。 ・ 福祉実践教室などに関連付けて、パラリンピック競技を实践できないか検討していきたい。